

○実績報告書

補助事業名	日本漫画家協会所蔵本および資料の調査整理・データベース化事業		団体名	公益社団法人日本漫画家協会	
事業期間	平成28年6月9日(木) ~ 平成29年3月20日(月)				
実施内容 (詳細は別紙に記入してください)	<p>公益社団法人日本漫画家協会は、漫画家の職業団体としては最も長い歴史を誇り、現在でももっとも多くマンガ家が所属している団体である。こうした本協会の歴史そのものが日本のマンガ文化発展の歴史を反映したものであり、本事業の文化的・社会的な意義・目的は本協会に蓄積された資料・知見を一般に共有可能なものにしていくことにある。</p> <p>本年度の本事業においてはそのために昨年度より継続して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所蔵本のデータ入力作業(本実施報告書、活動1) ・ポスタースキャン作業(本実施報告書、活動3) <p>をおこない、このうちの倉庫内書籍のデータ入力作業の進捗に伴い、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉庫内書籍資料の整理包装作業(本実施報告書、活動2) <p>を新たにおこなうことにした。</p> <p>さらに本年度からの新規の業務としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真資料の調査およびデータベース化(本実施報告書、活動4) ・日本漫画家協会会報調査(本実施報告書、活動5) <p>を開始した。</p> <p>また、本年度本事業においては次年度以降のメディア芸術データベースへの登録アカウントの発行が確定したため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベース公開方法の検討(本実施報告書、活動6) <p>もはじめています。</p>				
実施計画の達成目標の達成状況 (文化的・社会的・経済的効果側面から)	<p>上記業務のうち、昨年度より継続しておこなった株式会社寿限無に依頼したポスタースキャン作業(活動3)は滞りなく終了し、書籍のデータ化についても現在までに6260冊分のデータ入力が完了(活動1)。ポスタースキャンの副産物として得られたポスター内容の調査資料とともに本事業においては本年度も順調に情報の蓄積が進んだといえる。</p> <p>新規で開始した写真(活動4)、会報の調査(活動5)については、本年度は写真、会報それぞれの次年度以降におけるデジタルデータ化を前提に、デジタルデータ化の具体的な作業手順や付随した採取データの仕様やデータ採取のための作業手順などの作成、検討を中心におこなった。これは現在本協会内で検討されているメディア芸術データベースでの公開方法の検討(活動6)も含め、将来的なデジタルデータの公開とその活用を見据えた、今後のデジタルデータ化と本調査の実施のための準備段階の作業だったといえる。写真資料のデータベース化や会報のデータ化による公開、ポスターやチラシからのイベント情報のデータベース化といった昨年度から試行している本事業におけるいくつかの作業はあまり類例のないものであり、本協会所有の資料や知見の特殊性からみても、一般へ共有可能なかたちでデータ化していくという前項冒頭で掲げた目的のためには、このような丁寧なアプローチと調査は不可欠なものである。</p> <p>来期以降、具体的な写真や会報のデジタル化作業が進めば、情報採取を終えた物理的なメディアの管理のための作業として書籍の包装(活動2)のような作業の進捗に応じて適宜進めていくべきルーティーン的な業務が写真や会報、業者から返却されたポスターなどに関しても生じてくるが、本事業の主目的は資料、知見の共有化であり、その意味ではまだ事業全体が準備、試行の段階にあるといえるだろう。</p>				
担当者	渡辺教子	電話	03-5368-3783	F A X	03-3341-0062
所属・氏名	公益社団法人 日本漫画家協会			E-mail	BCF01357@nifty.com

活動①

名称	日本漫画家協会所蔵本のデータ入力	
実施者	池川佳宏、神谷和子、倉田陽枝、幸森軍也、小田切博	
日時	平成28年8月18日(木)～ 平成29年2月23日(木)	場所 日本漫画家協会
内容	<p>昨年度にひきつづき、協会地下書庫に所蔵されている書籍資料のデータ入力作業を行った。入力をスタートする前に、今年度新たに参加した担当者のために、池川から改めてメディア芸術データベースの入力規則のレクチャーを行い、池川の作業監督のもとでデータ入力を進めた。昨年度同様に「単行本」「その他の冊子」「雑誌巻号」の3種のExcelシートに分けて登録を行った。</p> <p>今年度も日本漫画家協会のログインアカウントが発行されておらず、データベースを直接使用することができなかった。Excelでの単行本データからコピーなどを行って便宜をはかったが、ISBNのないものには対応できないため、効率は悪いままとなっている。しかし昨年度に比べて一般的な単行本が多く、その他の冊子や雑誌巻号は少なく判断に困るケースは少なかった。</p> <p>今年度のデータ入力件数 単行本 2749冊 その他の冊子 63冊 雑誌巻号 5冊</p> <p>また、昨年度から今年度までに入力された書誌データを幸森、小田切がクロスチェックを行った。合計3204件のクロスチェックをした結果指摘された点について、池川が資料を確認し適宜訂正した。</p>	

活動②

名称	書籍整理包装作業	
実施者	渡辺教子、神谷和子、池川佳宏、小田切博	
日時	平成28年7月18日(月)～ 平成29年2月28日(火)	場所 日本漫画家協会他
内容	<p>データ入力を終えた書籍資料について、物理的な保護と書籍と採取情報との紐づけのために包装作業をおこなう。本年度本事業においてはまず作業手順、項目の検討をおこない、必要な備品を選定し購入後、具体的には以下の作業をおこなった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ラッピング媒体(バッグまたはカバー)に貼付するシールに出力するための資料管理情報項目を採取した書籍資料データから抽出する。 2) ファイルメーカーを用いてシール出力用のデータを作成し、資料管理用のシールを印刷する。 3) 倉庫内の資料を取り出し貼付されていた付箋を外し、大判の資料に関してはバッグに詰め、サイズの小さなものに関してはカバーをかける。 <p>バッグ、またはシールの上から印刷したシールを貼付し、バッグに関しては棚の大きさに応じてバッグ上部の余った部分をカットする。</p>	

活動③

名称	日本漫画家協会所蔵のポスタースキャン
実施者	池川佳宏、(株) 寿限無
日時	平成28年10月3日(月)～ 平成29年2月28日(火) 場所 (株) 寿限無
内容	<p>昨年度にひきつづき、協会が所蔵するポスター(主に展覧会やイベントの告知)のデジタル化とデータ取得を行った。筒に複数枚保管されている状態から、スキャン用の1枚を分離して展覧会やイベントの名称や日時を記録する。今年度は、直筆の絵画や寄せ書き、同梱されていたチラシもスキャン対象とした。</p> <p>B2より大きいポスター 12枚 B2より小さいポスター 226枚 チラシ(表裏あり) 30枚</p> <p>以上のデジタルスキャンとデータ記録を行った。</p> <p>また、昨年度から今年度にかけてスキャンした画像533枚について、ファイルサイズの重い保存用データではなく、Webで閲覧できる軽量のデータとサムネイルを作成して活用できるようにした。</p>

活動④

名称	日本漫画家協会が所有する写真、または協会が借りた写真の調査およびデータベース化
実施者	渡辺教子、幸森軍也、小田切博、原正人、池川佳宏、椎名ゆかり
日時	平成28年9月21日(水)～ 平成29年2月10日(金) 場所 日本漫画家協会他
内容	<p>今年度から新たに、協会が所有する写真または、協会が借りた写真を対象に、写真の内容について調査し、データベース化する作業を開始した。</p> <p>1) 今年度調査する写真の選定要件の検討 公共性が高い/撮影された時期が古く、年が経つにつれて益々調査が困難になると思われるもの</p> <p>2) 選択範囲 (A)漫画家協会が所有する紙焼き写真のファイル(50冊ほど)の中からファイル単位/(B)協会が既に借りていて今年度中に返却しなければならない写真のフォルダー (協会所有のポジフィルムの全体数も調査したが、今年度は紙焼き写真のみを対象とする)</p> <p>3) 対象写真候補選定 (A)「漫画100年」展の会場写真(152枚)(B)故改田昌直氏の写真(113枚)</p> <p>4) データベース化のための仕様作成 調査対象写真それぞれにID番号を付与し調査項目を決める仕様を作成</p> <p>5) 対象写真のデータ化 1枚ずつ写真をスキャンして、既に決めた仕様に従ってID番号を付けて保存</p> <p>6) 写真の内容について仕様に従って調査しデータとして入力</p> <p>*「漫画100年」展の写真を調査中に、漫画家協会会報において、同展示主催である協会が「漫画100年」展に展示された原画をさいたま市の漫画会館に寄託しているとの記述を見つけたため、実際に漫画会館(さいたま市プラザノース)を訪問し、原画の保存状態を確認。</p>

活動⑤

名称	日本漫画家協会の発行する会報調査	
実施者	池川佳宏、小田切博	
日時	平成28年12月8日(木)～ 平成29年2月28日(火)	場所 日本漫画家協会他
内容	<p>本年度本事業においては、将来的な全バックナンバーのデジタルデータ化と公開を視野に入れ、これまで協会が発行してきた会報の状態、データ化を見据えた内容の調査をおこなった。</p> <p>また、これにあわせて写真資料調査のための基礎資料として協会の活動と会報の発行年月日を照応した年表を作成している。</p> <p>1) 協会内でファイリングされているものとは別途保管されている会報バックナンバーを倉庫内で確認し、スキャン作業に用いることが可能な複本の存在を確認した。 確認バックナンバー 1～224号他 複本抜け会報号数 6、13、16、39、81、110、157、161、162、163、164</p> <p>2) 将来的な「会報そのもののデジタルデータ化、書誌データのデータベース化」を見据えて、会報の内容を調査し、検索可能な記事情報レベルでのデータ化の検討をおこなった。 現時点では写真調査などの本事業での別作業での参照可能性も考慮し、メディア芸術データベースの仕様とはあえて同一のものとはせず、国会図書館およびメディア芸術データベースの登録書誌情報を参考に、記事内容の検索までを可能な構造化されたデータ型を試案を提出した。</p> <p>3) 今後の写真資料調査などでの調査の便宜を図るため、調査した会報複本の発行年月日と協会年表をマージした会報発行年表を作成した。</p>	

活動⑥

名称	本事業で作成したデータベース公開について	
実施者	幸森 軍也	
日時	平成29年3月1日(水)～ 平成29年3月24日(金)	場所 日本漫画家協会他
内容	<p>本事業で製作されたデジタル複製物およびデータベースの利用について、次の2つの利用方法に関して理事会で検討をしなければならず、諮った。</p> <p>2つの利用方法とは一つはメディア芸術データベースとの統合であり、もう一つは協会自身での利用である。協会は公益社団法人であり、原則として公共利用に制限を設けるべきではないものの、対応事務局員の業務増加や著作権法その他関係法上の問題もあり、一般に広く無制限に公開するわけにもいかない。</p> <p>このためそれぞれの公開方法に関して理事会で検討。</p> <p>上記ケース分けをし、関係法についての注意書きをしたレジュメを作成。出席理事に配布して自由に意見を述べてもらい、実務を担当する事務局の意見も斟酌して、それぞれの公開方向を決める。</p> <p>現時点ではメディア芸術データベースに統合する時期、方法は不明であり、また協会webサイトに追加するとしてもサイトの改造が必要で短期間にはできない。理事会の決定にしたがって適切な時期、方法で公開を図る予定である。</p>	

○事業収支報告書

団体名	公益社団法人 日本漫画家協会
-----	----------------

【確認事項】消費税等仕入控除税額の取扱い(1、2、3のいずれかに○をつけること)

1. 課税事業者 2. 簡易課税事業者 3. 免税事業者

(収入)		
区分	内訳	金額(円)
申請者自己負担額 (イ)	当法人内の旅費交通費他より繰入	115,679
		()
その他		
小計(イ)		115,679
交付を受けようとする補助金の額(ロ)		4,951,824
総額(イ)+(ロ)		5,067,503

(支出)			
項目	内訳		金額(円)
補助対象経費	賞金	内部調整 1,763円×124時間 *	218,609
		経理 1,128円×79時間 *	89,112
		作業 1,050円×299時間45分 *	314,729
	役務費	進行管理 3,000円×210時間45分	682,830
		打込作業 1,050円×213時間	241,542
		資料整理 3,000円×250時間	810,000
		仕様作成 3,000円×77時間30分	251,100
		調査 3,000円×167時間45分	543,510
		デジタルスキャン 861,980円	930,938
	謝金	ポスターデータサムネイル化 97,400円	105,192
指導 5,000円×38時間		205,200	
助言 5,100円×79時間30分		437,886	
	取材協力 5,100円×22時間	121,176	
小計(A)			4,951,824
消費税非課税・不課税となる補助対象経費の額(B)			0
消費税等仕入控除税額控除後補助対象経費(C) ・1. 課税事業者: (C)=(A)-{(A)-(B)}×8/108 ・2. 免税事業者及び3. 簡易課税事業者: (C)=(A)			4,951,824
補助対象外経費 (D)	通信運搬費	提出書類送付	870
		消耗品費	
		付箋紙	2,698
		OPP袋A4	2,174
		OPP袋A5	678
		OPP袋B5	898
		OPP袋B6	278
		OPP袋その他サイズ	12,118
		OPP袋ブックカバー	11,363
		ワープロ&レーザー用ラベル	7,818
	打ち合わせ時お茶代	9,336	
旅費	作業員交通費 1,276円×35日	44,660	
雑費	銀行振込手数料	108	
借損料	パソコンリース代 3,240円×7ヶ月	22,680	
総額(A)+(D)			5,067,503

※総額(イ)+(ロ)と総額(A)+(D)は一致させること。

※消費税非課税・不課税となる経費については支出の内訳欄に*を付すこと

平成 28 年度 文化庁アーカイブ事業

申請時の事業計画書と、事業遂行時との変更部分について

◆ データ入力作業量の減少

書籍のデータ入力作業を行う作業員の健康上の問題により、新たな作業員を雇うかどうかの判断も難しく、当初予定したデータ数を入力することができなかった。入力データとして当初計画していた予算は、「ポスタースキンのサムネイル化」「会報調査」「漫画 100 年展原画確認のためのさいたま市漫画会館訪問」等に使用した。

◆ 当初予定していなかったが、新たに加わった調査・作業項目

▶ ポスタースキンのサムネイル化

当初予定していたポスターを全部スキンしたが、想定したより数が多かった上に、サイズが大きいポスターがあったため、協会としてデータを使用しやすくするために、ポスタースキンのサムネイルを新たに作成し利便性を向上させた。

▶ 会報調査

今年度行った写真調査の際に、漫画家協会が発行する会報の有用性があらためて確認され、会報のデータベース作成に関してどのような仕様が必要とするかを確認するための調査および仕様作成を行った。

▶ 「漫画 100 年」展原画確認のためのさいたま市漫画会館訪問

写真の調査を行う中で、協会主催で行った「漫画 100 年」展に関する様々な情報が明らかになり、さいたま市漫画会館に原画が保管されていると会報に記述されていたため、事実確認のために漫画会館を訪問した。

◆ デジタルスキャン額と仕様作成（メタデータの設計）額の変更

デジタルスキャン額として当初予定した額に加え、予定していなかったポスタースキンのサムネイル化が加わった。更に、写真調査として当初予定していた仕様に加え、予定してなかった会報調査の仕様作成が加わった。（上記の項目参照）。

◆ 賃金額の変更

幸森作業員と池川作業員（寿限無）の監督料に差別化を行い、池川作業員の監督料を時給 5100 円から 5000 円とした。